

あいち農産物生産流通レポート

平成29年11月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 第70回関西茶業振興大会愛知県大会の開催について	(園芸農産課) 1
◎ 地域トピックス	
・ 新城市、設楽町でライスセンターを機能増強	(新城設楽農林水産事務所) 2
◎ 東日本情報	
・ 東京都生鮮物輸出協議会と産地の協力による輸出促進の取組	(東京事務所) 3
◎ 西日本情報	
・ 小麦品種「きぬあかり」・「ゆめあかり」の普及拡大に向けた取組について	(園芸農産課) 5
・ 消費者PRを兼ねた品評会「クラウンメロン品評会 in名古屋」	(食育消費流通課) 7
◎ フラワーページ	
・ JFITトレードフェアへの出展について	(園芸農産課) 8
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の11月の見通し(県内市場)	22

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課 (052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ (03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」
http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

第70回関西茶業振興大会愛知県大会の開催について

園芸農産課

関西・東海地区6府県（愛知、岐阜、三重、滋賀、京都、奈良）の茶の特徴を明らかにし、生産技術や品質向上を図るとともに、茶の国内外需要の増進、6府県の茶業振興、並びに日本茶業の発展に寄与することを目的に、6府県の輪番で関西茶業振興大会を開催しています。今年度は6年ぶりに愛知県で開催中です。

1 関西茶業振興大会の概要

大会の主要行事は、①茶品評会、②入札販売会、③大会式典及びPRイベントです。茶品評会及び入札販売会はすでに終了しており、下記の審査結果及び販売実績となりました。

(1) 茶品評会

日時：平成29年8月1日（火）～3日（木）

出品数：5茶種（普通煎茶、深蒸し煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶）計570点
成績（愛知県分）

産地賞：かぶせ茶の部で豊田市、てん茶の部で西尾市が受賞

個人：かぶせ茶の部で豊田市の藪押博茂氏が、てん茶の部で豊田市の石川龍樹氏が最高賞である農林水産大臣賞受賞

(2) 入札販売会

日時：平成29年9月14日（木）

参加者：90業者

平均落札単価（1kg当たり）

普通煎茶	11,559円	かぶせ茶	11,683円	てん茶	22,676円
深蒸し煎茶	6,423円	玉露	56,269円	全茶種計	17,389円

2 大会式典及びPRイベント

12月に開催するPRイベントでは、茶業関係者のみならず、一般の方も楽しめる企画を用意しております。皆様の御来場をお待ちしています。

開催日：平成29年12月16日（土）

開催場所：豊田市民文化会館
（豊田市小坂町12-100）

参加費：無料

内容：大会式典（品評会の表彰式等）、出品茶の展示、茶業機資材展、無料呈茶、抹茶石臼挽き体験、出品茶販売、抹茶スイーツ販売、トークショーなど

問合せ先：園芸農産課 特用作物グループ
電話 052-954-6416（ダイヤルイン）



大会式典（H23）



無料呈茶（H23）

新城市、設楽町でライスセンターを機能増強

新城設楽農林水産事務所

J A愛知東では、3か所のライスセンター（以下、「RC」）にそれぞれ色彩選別機の新規導入及び関連装置の増強を行いました。平成29年3月に竣工し、8月から荷受を開始しました。

1 導入の経緯

新城設楽地域では、年々、カメムシ被害の増加が問題となっていました。また、消費者の嗜好の変化から着色米等の混入がない良品質米を求める声が大きく、消費者ニーズに応え、品質改善と販売強化を行うため、施設整備に取り組みました。新城RCは平成28年度強い農業づくり交付金を、設楽町の名倉RCと津具RCは平成28年度産地パワーアップ事業を活用し、機能増強を行いました（表1）。

表1 各RCの事業概要

新城RC（新城市）		
事業名	平成28年度強い農業づくり事業	
内容	籾摺装置（石抜き装置付き）2基 色彩選別機（タンク付き）1基	
受益	420戸 150.06ha（平成30年度）	
成果目標	一等米比率の向上、品質分析によるタンパク質の低下	
名倉・津具RC（設楽町）		
事業名	平成28年度産地パワーアップ事業	
内容	名倉RC	津具RC
	色彩選別機一式 乾燥機6基 荷受操作盤一式	色彩選別機一式 籾粗選機1基 乾燥機1基 自主検査装置一式
受益	253戸 107.3ha（平成30年度）	
成果目標	契約栽培の割合の10%以上の増加 かつ50%以上	

2 各RCの特徴

新城RCでは、籾摺り精度を高めつつ、色彩選別機によりカメムシ被害米、着色米を除去することで一等米比率を向上させます。また、品質分析を行い、施肥等生産技術を見直すことでタンパク質含量の低下を図り、良質な米の生産を通じた農家所得の安定を目指しています。

名倉RCと津具RCでは、色彩選別機の導入とともに、乾燥機を増強して酒米・掛米等の契約米の乾燥と調製を一括することで米の品質を安定させ、取引を行う醸造会社、管内消費者、地元学校給食の契約数量の増加を図っています。特に酒造好適米（夢山水）や掛米（加工用米チヨニシキ）の売買契約を地元醸造会社等と結ぶことで、安定した価格での買い取りが行われ、農家所得の安定が期待できます。



新城RCの色彩選別機

東京都生鮮物輸出協議会と産地の協力による輸出促進の取組

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

東京都中央卸売市場で青果、花き、水産を取り扱う卸売業者3社^{注1}が中心となって輸出促進に取り組む「東京都生鮮物輸出協議会」では、平成29年度の活動として、本県を始めとした5県^{注2}の輸出促進協議会等と協力し、インドネシアへの輸出促進に向けた取組を実施しています。

この取組の一環として、平成29年9月26日（火）に、東京都品川区の在日インドネシア大使館で、輸出の規制緩和に向けた意見交換及び青果物等の試食が実施されましたので、概要を報告します。

注1 東京青果株式会社、株式会社大田花き、中央魚類株式会社

注2 青森県、茨城県、愛知県、岡山県、福岡県

1 規制緩和に向けた意見交換会

意見交換会では、在日インドネシア大使館のダデン農業担当官に対し、日本産青果物の輸入に対する規制緩和に向けた要望を行いました。

現在、インドネシアへの輸出においては、特定の品目に輸入枠が設けられているほか、多種類にわたる化学物質の残留検査が必要となること、特定の港でしか水揚げが認められず、輸送時間がかかるため品質劣化が懸念されることなどが障壁となっており、これらの規制緩和が課題となっています。

ダデン農業担当官からは「これらの規制撤廃は、二国間の政府交渉の議題としてもらうことが良い」、としながら「民間企業の動向が政府間交渉に影響を与える。今後ともこうした活動を継続させることが良い」といったコメントがありました。



意見交換会の様子

2 大使館関係者の家族を対象とした試食会

試食会では、インドネシア大使館関係者の配偶者を対象に、ぶどうやりんご、桃、柿など、本取組に協力する5県を中心に出品された果実等の試食が行われたほか、バラ、トルコキキョウ、クレマチス、グロリオサ等の花きが展示されました(表1)。

本県からはJ A豊橋の次郎柿（ハウス栽培）及びミニトマトが試食され、花きではJ Aあいち中央のグロリオサ、J Aひまわりのバラが展示されました。試食された次郎柿については、参加者から「柿はインドネシアにもあるが、もっと小さい。次郎柿は硬いのに甘いので驚き。しっかりした食感が良く美味しい」といった声が聞かれたほか、ミニトマトでは「インドネシア国内ではまだ一般的ではないが、美味しい」と、高く評価されました。

試食会に係るアンケート結果では、次郎柿は約8割、ミニトマトは約9割の参加者が「大変美味しい」、「美味しい」と評価したほか、花きについては、J Aひまわりのバラが最も人気を集める結果となりました。

表1 試食会の出品品目一覧

品目(品種・ブランド名)	産地	備考
りんご(早生ふじ、トキ)	青森県	
桃(さくらもも)	山形県	
ミニトマト	愛知県	
柿(次郎柿)	愛知県	ハウス栽培
梨(新高)	茨城県	
甘藷(シルクスweet)	茨城県	展示のみ
ぶどう(ニューピオーネ、瀬戸ジャイアンツ)	岡山県	
みかん(早味かん)	福岡県	



試食に呈された果実



展示された花き

3 今後の取組

東京都生鮮物輸出協議会では、インドネシアへの輸出促進に向けた取組として、11月にジャカルタにおいて流通調査、試食宣伝会を実施する予定です。

インドネシアへの輸出に向けて解決すべき課題は山積している状況ですが、本取組によりその突破口が開かれることで、本県産青果物の需要拡大が図られることに期待したいと思えます。

小麦品種「きぬあかり」・「ゆめあかり」の普及拡大に向けた取組について

園芸農産課

1 愛知県的小麦作について

小麦は重要な転作作物で、愛知県では作付のほとんどが水田で行われています。一方で小麦は湿害に弱く、愛知県で安定した栽培を行うためには、湿害に強い品種の育成が不可欠でした。

そこで、愛知県農業総合試験場は、日本めん用の品種として「きぬあかり」を開発しました。本品種は、湿害に強く多収で、平成24年から本格的な栽培が始まりました。その後、品質や収量性が認められ、急速に普及し、平成29年産の作付面積は4,635haで、本県の小麦全作付面積の約86%を占めています（図1）。

また、消費者及び実需者からはパン・中華めん用小麦の開発が求められ、愛知県農業総合試験場は平成23年に「ゆめあかり」を開発しました。本品種は平成26年に品種登録された後、平成28年に奨励品種に採用され、今後の普及拡大が見込まれています。

2 あいちの小麦の知名度向上への取組

「きぬあかり」の知名度向上を図るために、平成25年7月から、県、生産者団体及び小麦実需者団体をメンバーとして、『「きぬあかり」普及推進プロジェクトチーム』を発足しました。ここでは、「きぬあかりシンボルマーク」の活用やブースター（「きぬあかり」の熱烈なファン）の募集、メールによる情報発信等を行ってきました。

平成29年度からは、「ゆめあかり」も含めた、「あいちの小麦『きぬあかり』『ゆめあかり』普及推進プロジェクトチーム」として普及に向けた取り組みを行っています。

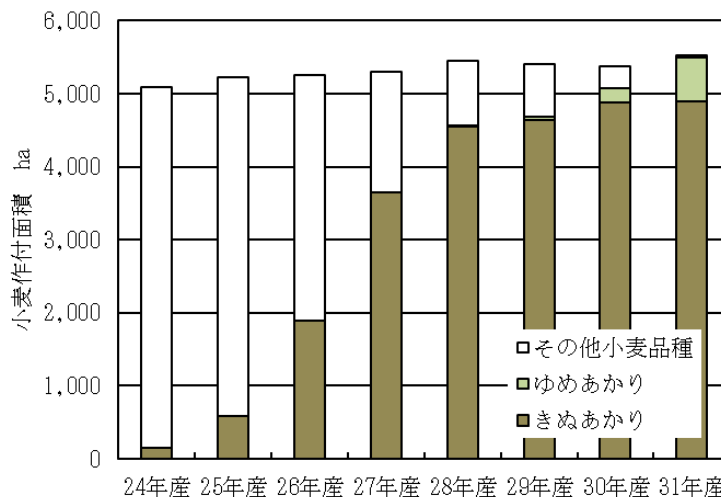


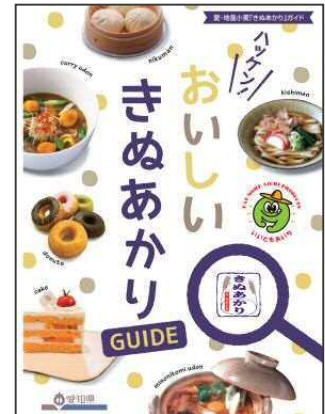
図1 小麦作付面積の推移

注. 29年産までは実績、30年産以降は計画。



「きぬあかり」のPR活動

また、平成 27 年度からは国の地方創生推進交付金事業を活用し、あいちの小麦の P R 活動を行っています。具体的には、「きぬあかり」を使用した商品及び店舗を紹介した「きぬあかり」ガイドブックを作成し、各種イベント等で配布して消費者への知名度向上を図りました。「ゆめあかり」についてもホームページにおける品種特性の紹介や、「きぬあかり」と併せた各種イベントでの P R 活動等を行い、普及拡大を働きかけました。



「きぬあかり」ガイドブック

3 あいちの小麦の品質向上への取組

小麦は様々な加工食品の原料であり、実需者からは安定した品質が求められています。そこで、平成 26 年度に、生産者団体と実需者団体と一緒に「きぬあかり」の品質目標を定める（表 1）とともに、目標達成に向け課題等を整理する「生産技術検討会議」を行いました。この会議は平成 27 年度以降も毎年行っており、県内の産地ごとに前年産の品質分析結果と栽培法の報告、次年産に向けた取組等を検討しています。

表 1 「きぬあかり」品質目標（平成 29 年現在）

たんぱく質 含量	灰分	容積重	フォーリング ナンバー
9.0～9.5%	1.50%以下	840g/l 以上	300 以上

また、将来的な生産拡大が見込まれる「ゆめあかり」においても品質目標を定め、生産安定に取り組みます。

4 今後の展望

今後は、「きぬあかり」、「ゆめあかり」の両品種について、生産安定のための取組を進めるとともに、消費拡大に向けた P R 活動にも積極的に取り組んでいきます。

平成 29 年度は、両品種を使用する事業者との実需者交流会による用途拡大及び商品開発の促進、「ゆめあかり」のシンボルマーク作成等を計画しており、「きぬあかり」、「ゆめあかり」に関する情報を広く発信して認知度を高め、消費の拡大を図ることを目指します。



「きぬあかり」の
シンボルマーク

消費者PRを兼ねた品評会「クラウンメロン品評会 in 名古屋」

食育消費流通課

温室メロンのトップブランド産地である静岡県温室農協クラウンメロン支所が、名古屋市での卸売会社（セントライ青果、名古屋青果）との共催で10月21日（土）に「クラウンメロン品評会 in 名古屋」を名古屋駅前のキャッスルプラザホテルで開催しました。

1 「クラウンメロン品評会 in 名古屋」について

この品評会は、消費者に最高品質のクラウンメロンを知ってもらうため、元々浜松市や静岡市など地元で開催されてきました。しかし昨年、さらに多くの消費者にPRすることを目指して大消費地である首都圏で開催され、今年は初めて中部圏の中心である名古屋市で開催されました。



品評会会場入り口

2 品評会の様子

品評会には、200名を超える生産者から選抜された40名のメロンが出品されました。審査は一般に公開されていませんが、市場関係者、果物店、消費者代表として長島観光サービス、東海テレビアナウンサー等の計10名が参加し、出品物を評価したとのことでした。

その後、訪れた一般客約400名が出品物の試食を行い、最高品質のメロンを味わいました。



試食会の様子

3 消費者等を交えた品評会でのPR

農産物の品評会は、生産者の品質レベルの向上や生産振興等を目的に毎年様々な場所で開催されています。本県でも愛知県果樹振興会等との共催で、「ぶどう」や「いちじく」等で「あいちのフルーツコンテスト」並びに消費拡大イベントとして「あいちのフルーツフェア」を開催しています。

今回のような産地を離れて消費地でのPRを兼ねた品評会は、市場等でも多く行われています。市場で開催すれば、卸や仲卸へのPR効果が大きく、最高賞になれば、祝儀価格での取引やその生産者の荷は高値での取引も期待できます。

今回の品評会は、販売への効果だけではなく、消費拡大のPRイベントとしても面白味があり、今後、ブランド力強化のためのツールとしての活用も期待できると感じました。



最高賞のメロン

J F I トレードフェアへの出展について

園芸農産課

本県では、全国一の花き生産を誇る「花の王国あいち」として、県産花きの輸出の取組を一層促進するため、本年度、愛知県、J A あいち経済連及び愛知県花き温室園芸組合連合会による「あいちの花き輸出促進実行委員会」（以下「実行委員会」という。）を設立しました。

この実行委員会では、花き展示商談会等への出展及び海外バイヤーに対する産地ツアーを実施し、県産花きの品質の高さをPRすることを本年度計画しています。

今回は、愛知豊明花き地方卸売市場で開催されたJ F I トレードフェアに出展し、海外で目新しいと思われる夏から秋にかけて出回る県産花き品種を展示しましたので紹介します。

1 トレードフェアの出展内容

J F I トレードフェアは豊明花き株式会社が主催する園芸見本市で、9月30日（土）に愛知豊明花き地方卸売市場内で開催されました。フェアには海外を含む各地の生産・流通・販売関係者が参加して商談や情報交換を行いました。実行委員会からは県産の花材を展示して香港、シンガポール、ロシア、ドバイ（U A E）の4か国の海外バイヤーにアンケートを実施するとともに、展示品種の意見等を伺いました。



フェアで展示した花材

○トレードフェアにおける展示花材

- ・グロリオサ：セントレア マスコットイエロー、ロイヤル、パールホワイト、プレシヤスマーン
- ・スプレーバラ：コンキョサーレ、シトラスジュエル、ヴァンルーージュ、エルヴァレンジ、テディベアー、シランス
- ・スプレーギク：アナスタシア ダークライム、ノーマンサニー
- ・サマースイートピー
- ・ケイトウ：麗炎
- ・クルクマ：シャローム
- ・蓮台

2 出展結果

全てのバイヤーが、グロリオサやサマースイートピー、バラのコンキョサーレ、エルヴァレンジなど日本オリジナル品種に強い興味を持たれました。特にサマースイートピーでは、1年草のスイートピーよりも花の色が純白なことや、ピンク系があることに興味を示し、取り扱ってみたいなどの意見もありました。



花材を評価するバイヤー

実行委員会では、今回のトレードフェアでの意見を取りまとめ、各産地に情報を提供し、次回の展示に向けた品種選定を進める予定です。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
28年実績	137	136 (99%)	688	684	— — —
29年見通し	90	—	750	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>27年、28年と豊作基調だったが、本年は春先の低温などもあり、入荷は大幅に落ち込む見通し。中生品種の入荷状況も良くないが、特に晩生品種の出来が悪い。サイズはLから2Lが中心で、前年産と比較してやや大玉が増加すると思われる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>本年は、例年に比べて特に入荷量が少なくなることが見込まれるため、市場に出荷するぎんなんの数量確保をお願いしたい。 また、消費者からは大玉が好まれるため、大玉の生産に重点を置いた栽培管理をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：カリフラワー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
28年実績	3,002	160 (5%)	294	311	茨城 (17%) 長野 (17%) 新潟 (12%)
29年見通し	3,000	—	260	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産の入荷は10月から始まり、例年、厳寒期の12月～2月にピークを迎える。 本年は、愛知や関東産地で10月の長雨・台風による傷みや葉が飛んだことによる花蕾の日焼け等が出ており、入荷量の減少と品質低下が予想される。厳寒期を狙う福岡や長崎などの産地は、年末・年明け頃から本格化する。 入荷量は少なかった前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>愛知産は、量的には少ないものの高品質で高く評価されている。カリフラワーは業務色が強い品目なので、引き続き8玉中心で安定した出荷をお願いしたい。 また、ロマネスクや色付きのものは、クリスマス前の1週間が需要ピークとなるため、これに応じた出荷を心がけてほしい。その中でも色付きのものは発色の良さが評価されるので、選別の強化を図ってほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し

名古屋中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)
			上旬	中旬	下旬	
野菜計	24年	35,272	171	176	165	北海道 33%
	25年	34,141	182	178	181	愛知 21%
	26年	32,804	233	223	230	茨城 10%
	27年	35,109	177	187	177	長野 9%
	28年	31,265	267	288	277	
	5ヵ年平均	33,718	206	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	33,900	163	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
北海道、愛知、茨城などが中心となる。 10月前半は天候に恵まれ潤沢な入荷の一方で、価格は低迷した。後半の気温低下及び台風による価格上昇の可能性もあるが、現時点では11月も順調な入荷を予想。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に上回る見込み。						
だいこん	24年	2,245	67	73	66	愛知 46%
	25年	2,387	95	97	99	千葉 42%
	26年	2,075	61	63	64	青森 4%
	27年	2,210	60	81	57	長崎 3%
	28年	1,830	145	157	166	神奈川 2%
	5ヵ年平均	2,149	84	92	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,100	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
愛知、千葉を中心に、青森の終盤ものなどが入る。青森の残量はやや少ないが、愛知と千葉からは順調な入荷が見込まれる。価格は横ばいで推移する見通し。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。						
にんじん	24年	1,907	97	95	106	北海道 51%
	25年	2,101	156	147	196	愛知 30%
	26年	1,907	90	79	91	岐阜 7%
	27年	1,672	135	135	143	青森 7%
	28年	1,702	195	241	232	中国 2%
	5ヵ年平均	1,858	134	137	153	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,900	110	100	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
北海道を中心に愛知、岐阜などから入荷する。昨年は北海道産が台風の影響で品薄となり高値だったが、今年は平年並の入荷となる見込み。愛知などの入荷も始まり、産地は平坦地に移行していく。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

10月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜	24年	129,972	199	198	200	茨城	23%	
	25年	125,287	250	247	256	千葉	19%	
	26年	126,336	196	189	211	北海道	18%	
	27年	127,700	195	209	188	愛知	4%	
	28年	120,580	290	310	295	埼玉	4%	
	5カ年平均	125,975	225	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	29年見通し	125,000	250	—	—			
計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>葉茎菜類は終盤の長野、関東産地からの入荷となる。台風により正品率は低い。果菜類は西南暖地、関東産地からの入荷となる。入荷量は平年並が見込まれるが、曇雨天の影響に懸念あり。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	24年	12,878	60	66	56	57	千葉	64%
	25年	12,654	90	89	94	87	神奈川	17%
	26年	13,180	52	51	50	55	茨城	8%
	27年	12,726	54	71	51	41	青森	5%
	28年	12,485	124	141	136	95	栃木	2%
	5カ年平均	12,785	76	83	77	67	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	29年見通し	13,000	75	80	75	70		
計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>千葉を中心に神奈川、茨城などから入荷する。主力の千葉は台風21号による塩害で正品率の低下が予想される。上旬までは台風後のほ場管理(防除)等が重なり入荷量は伸び悩むが、中旬以降は回復する見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
にんじん	24年	7,763	124	112	119	137	千葉	54%
	25年	6,843	162	138	165	182	北海道	25%
	26年	7,883	85	78	89	89	中国	6%
	27年	7,686	124	121	133	120	青森	6%
	28年	6,912	211	233	227	180	埼玉	4%
	5カ年平均	7,417	139	134	144	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	29年見通し	7,600	95	90	100	95		
計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>千葉、北海道からの入荷が中心となる。前年の豪雨被害から回復した北海道は最終盤の出荷が残る。関東産地は台風被害が散見されるも入荷量は前年を超える見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年、平年ともに大幅に下回る。</p>							

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	24年	3,600	53	62	51	47	茨城 61%
	25年	3,466	88	91	101	76	愛知 20%
	26年	3,658	40	38	43	42	長野 16%
	27年	3,535	51	66	50	39	岐阜 1%
	28年	3,131	144	200	139	103	
	5ヵ年平均	3,478	73	88	75	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	3,500	50	50	50		
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、愛知、長野から入荷する。長野の残量は中旬まで残る見込み。茨城と愛知は生育順調で入荷時期の前倒しが予想されており、価格は安値となる見通し。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						
キヤベツ	24年	4,055	46	48	45	47	愛知 58%
	25年	3,882	115	108	113	127	茨城 33%
	26年	3,749	63	55	61	78	長野 3%
	27年	3,285	80	119	75	50	秋田 2%
	28年	3,130	178	248	184	121	北海道 1%
	5ヵ年平均	3,620	93	110	92	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	3,600	50	50	50		
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、茨城を中心に入荷する。愛知と茨城の生育状況は良好。ここまで価格が低迷している中、さらに潤沢な入荷が見込まれており、厳しい販売情勢となる見通し。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年のみならず平年も大幅に下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	24年	273	526	505	510	585	愛知 51%
	25年	199	770	791	767	775	岐阜 29%
	26年	311	465	453	452	520	茨城 13%
	27年	428	260	391	252	219	群馬 3%
	28年	296	596	721	731	453	長野 1%
	5ヵ年平均	302	484	542	502	467	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	400	350	400	350	300	
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知を中心に、岐阜などから入荷する。主産地が愛知に移り、愛知と岐阜の残量などの入荷となるが、各産地ともに順調な入荷となる見通し。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

10月31日 現在

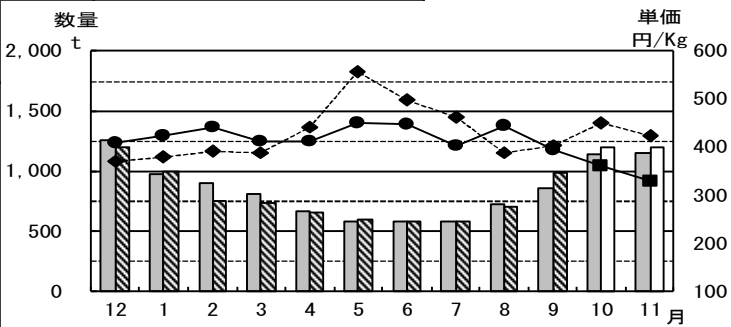
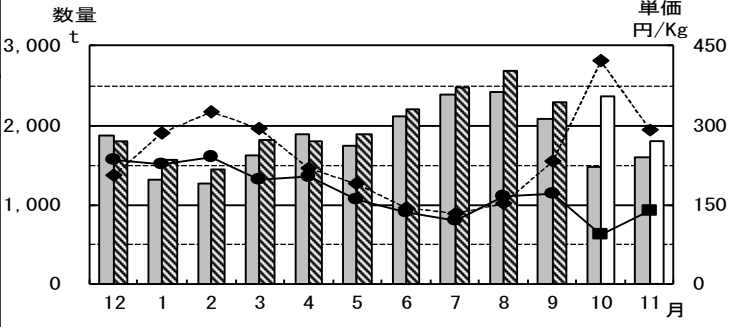
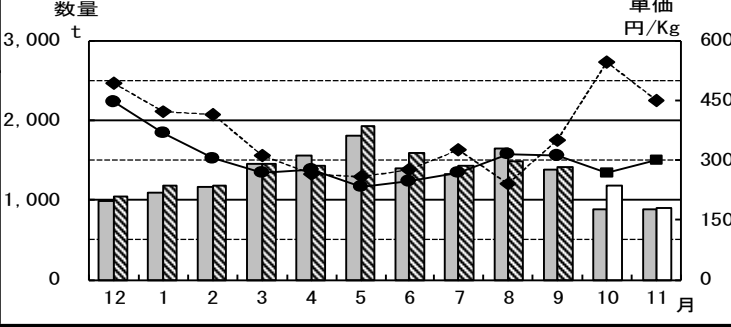
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	24年	13,079	42	50	39	37	茨城 91%
	25年	13,853	75	79	84	63	長野 4%
	26年	11,922	33	33	34	33	群馬 2%
	27年	11,706	47	60	45	35	北海道 2%
	28年	14,560	116	151	114	85	
	5ヵ年平均	13,024	65	77	66	52	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	13,500	65	65	65	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。9月の好天により生育、肥大は順調だが、台風21号による冠水の影響で傷みが出ており、入荷量は平年並だが正品率は低い。出荷のピークは11月上中旬と見込まれる。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は12月約13,000t、11月約14,500t。単価は12月約40円/kg、11月約85円/kg。</p>					
キャベツ	24年	14,000	49	47	47	52	千葉 38%
	25年	13,300	113	96	112	132	愛知 25%
	26年	12,682	63	53	59	79	茨城 21%
	27年	13,583	83	114	81	57	神奈川 6%
	28年	13,717	172	226	175	121	群馬 4%
	5ヵ年平均	13,456	96	108	95	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	14,800	80	70	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、愛知、茨城からの入荷が中心となる。台風21号の影響は生育初期のものに出ているが、収穫期を迎える作柄への影響は少ない。病害が懸念されるも、11月時点での入荷量への影響は少ないと見込まれる。</p> <p>入荷量は小玉となった前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は12月約14,000t、11月約14,800t。単価は12月約40円/kg、11月約85円/kg。</p>					
ほうろ	24年	1,604	461	451	426	517	群馬 38%
	25年	1,255	651	640	648	662	茨城 21%
	26年	1,610	426	413	382	499	栃木 12%
	27年	1,895	295	342	273	272	千葉 10%
	28年	1,292	612	689	674	501	埼玉 8%
	5ヵ年平均	1,531	469	487	457	474	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,400	470	510	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。ここまでの前進出荷と10月の曇雨天の影響で入荷は停滞気味も、11月は天候回復に伴い入荷量の増加が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は夏場の高値の反動もあり前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は12月約1,600t、11月約1,400t。単価は12月約400円/kg、11月約850円/kg。</p>					

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

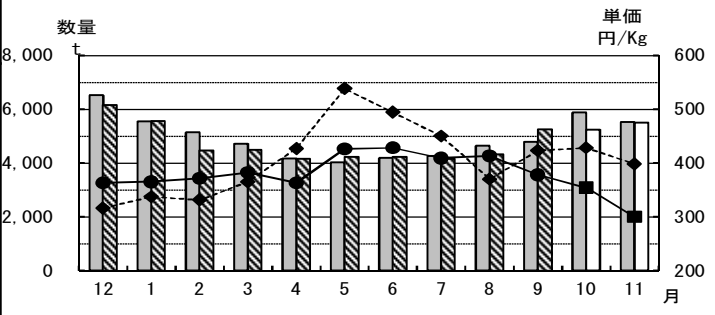
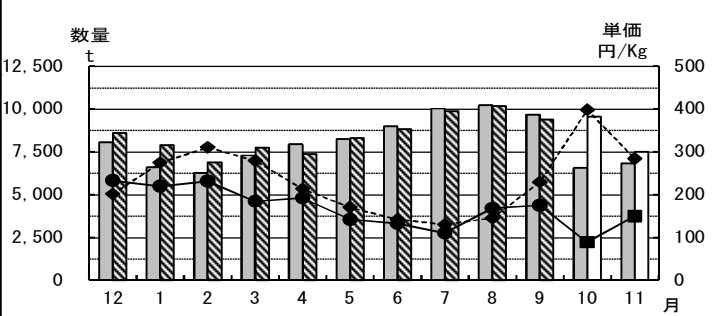
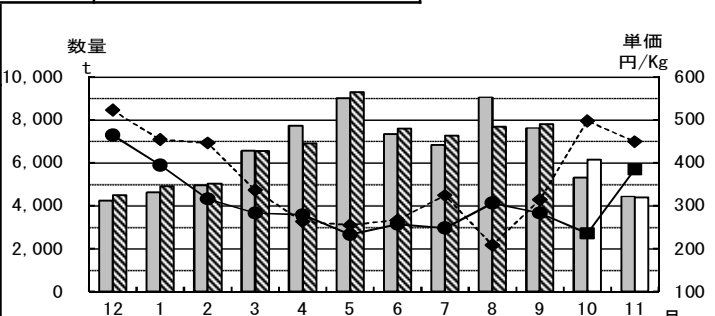
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	1,311	323	333	327	320	長野 19%
	25年	1,194	368	356	359	389	北海道 18%
	26年	1,213	288	271	280	330	秋田 11%
	27年	1,219	297	280	305	325	富山 10%
	28年	1,149	423	426	453	398	静岡 7%
	5ヵ年平均	1,217	339	332	343	351	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,200	330	330	330	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長野、富山などを中心に入荷する。前年は北海道などの入荷が天候不順等の影響で減少したが、本年は各産地とも順調な入荷見込み。愛知は中旬から増量すると見られる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>北海道、長野、富山などを中心に入荷する。前年は北海道などの入荷が天候不順等の影響で減少したが、本年は各産地とも順調な入荷見込み。愛知は中旬から増量すると見られる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
しそ	24年	1,362	226	207	203	280	茨城 49%
	25年	1,498	311	288	284	370	兵庫 35%
	26年	1,871	150	130	132	202	愛知 8%
	27年	2,002	127	135	111	140	静岡 3%
	28年	1,612	290	317	290	261	群馬 2%
	5ヵ年平均	1,669	213	208	196	241	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,800	140	130	140	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫、茨城を中心に愛知などから入荷する。各産地ともに生育良好で順調な入荷が見込まれる。茨城では入荷時期の前倒しが予想され、下旬には荷が少なくなる可能性もある。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>兵庫、茨城を中心に愛知などから入荷する。各産地ともに生育良好で順調な入荷が見込まれる。茨城では入荷時期の前倒しが予想され、下旬には荷が少なくなる可能性もある。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
きゅうり	24年	978	346	375	348	324	愛知 33%
	25年	897	458	616	423	392	宮崎 21%
	26年	853	385	277	282	296	群馬 14%
	27年	941	291	255	258	386	高知 11%
	28年	876	448	537	467	367	山梨 6%
	5ヵ年平均	909	384	411	355	353	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	900	300	270	270	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>抑制産地から愛知、宮崎などの促成産地に切替わる。愛知や西南暖地がやや遅れ気味で上旬に端境期に入るが、各産地とも生育状況は良好。中旬以降は順調な入荷が予想される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
<p>抑制産地から愛知、宮崎などの促成産地に切替わる。愛知や西南暖地がやや遅れ気味で上旬に端境期に入るが、各産地とも生育状況は良好。中旬以降は順調な入荷が予想される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

10月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	6, 219	295	304	306	276	青森 16%
	25年	6, 578	302	284	308	315	秋田 16%
	26年	6, 004	244	233	245	267	茨城 10%
	27年	5, 598	279	273	277	287	千葉 9%
	28年	5, 516	398	416	420	360	新潟 8%
	5ヵ年平均	5, 983	302	300	310	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	5, 500	300	320	310	270	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森、秋田の出荷最盛期がずれ込み、茨城など関東産地からの入荷も本格化する。青森は長雨の影響から収穫が遅れ11月入荷は増える見通し。関東産地は台風による葉折れ等の品質低下が懸念される。 入荷量は前年並、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
し	24年	6, 335	205	176	185	266	茨城 65%
	25年	6, 970	285	255	249	349	静岡 8%
	26年	7, 384	135	111	118	185	兵庫 8%
	27年	8, 563	117	128	94	132	栃木 4%
	28年	6, 827	284	303	295	253	千葉 3%
	5ヵ年平均	7, 216	200	191	183	231	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7, 500	150	170	150	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城を中心に兵庫、静岡などから入荷する。台風の影響は今後の状況次第だが、傷みや病害を回避するため、収穫が前進する可能性も。入荷量は平年並と思われるが、早穫り分は小玉に傾くと見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は品質低下等もあり前年を大幅に下回る。</p>							
きゅうり	24年	4, 792	349	361	336	347	埼玉 30%
	25年	4, 551	462	572	438	398	群馬 24%
	26年	4, 547	394	344	414	431	宮崎 15%
	27年	4, 784	140	249	269	418	千葉 8%
	28年	4, 432	449	500	460	391	高知 7%
	5ヵ年平均	4, 621	356	403	381	397	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4, 400	385	420	380	355	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>埼玉、群馬、宮崎からの入荷が中心となる。作付、生育とも順調に進んでいたが、10月の低温と曇雨天により生育遅延、出荷減となった。価格は上旬は高値が続く、入荷量の回復に伴い下がると見込まれる。 入荷量はやや少なかった前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	24年	471	362	339	379	384	愛知 46%
	25年	416	460	454	458	450	熊本 42%
	26年	441	405	384	408	431	山梨 5%
	27年	469	346	335	347	365	高知 5%
	28年	428	453	405	491	477	茨城 1%
	5カ年平均	445	403	381	414	420	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	450	350	330	350	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、熊本を中心に入荷する。両県ともに病害虫も少なく作柄良好で、順調な入荷となる見通し。台風の影響が懸念されるが、現状では上旬から入荷量が徐々に増加し、中旬以降は潤沢になると見られる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。							
ト マ ト	24年	823	518	570	576	427	熊本 38%
	25年	834	465	422	465	521	愛知 25%
	26年	1,116	322	332	313	321	三重 18%
	27年	1,361	267	336	261	219	岐阜 15%
	28年	761	572	541	541	654	長野 1%
	5カ年平均	979	403	421	404	396	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,100	370	400	370	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知などを中心に入荷する。昨年は晩夏から初秋の天候不順の影響で入荷量が大きく減少したが、本年は各産地ともに生育良好。順調な入荷となる見通し。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	24年	282	959	1,154	904	805	愛知 55%
	25年	324	756	727	748	774	熊本 37%
	26年	355	658	702	628	613	和歌山 4%
	27年	453	580	772	582	443	北海道 2%
	28年	276	1,122	1,126	1,087	1,150	長野 1%
	5カ年平均	338	782	870	760	718	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	350	700	800	700	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、熊本を中心に入荷する。トマトと同様に天候不順により入荷減となった前年に対して、本年は愛知、熊本ともに天候に恵まれ順調な入荷が見込まれる。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

10月31日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	24年	2, 423	371	325	372	431	高知 78%
	25年	2, 187	472	484	451	485	栃木 8%
	26年	2, 346	379	320	361	492	群馬 4%
	27年	2, 600	343	311	354	371	佐賀 3%
	28年	2, 290	483	434	504	481	茨城 2%
	5ヵ年平均	2, 369	407	372	406	449	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	2, 300	430	430	410	450		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						<p>高知を中心に栃木などから入荷する。高知は9月の日照不足、10月の低温による樹勢低下が見られる。上旬まで入荷は伸び悩むものの、徐々に回復が見込まれる。福岡は概ね順調な生育となっている。 入荷量は前年並で、価格は高値だった前年をかなり下回るが平年を上回る見込み。</p>
ト	24年	4, 774	554	591	613	462	熊本 37%
	25年	4, 602	480	424	475	545	愛知 17%
	26年	5, 649	343	335	333	364	千葉 13%
	27年	6, 903	292	359	278	252	栃木 9%
	28年	3, 912	624	589	605	690	静岡 6%
	5ヵ年平均	5, 168	435	443	437	434	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	5, 100	350	370	340	340		
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						<p>熊本、愛知、千葉からの入荷が中心となる。着色遅れが散見されるも影響は少なく、階級はL・Mサイズ中心。曇雨天による花飛びが見られるが、入荷への影響は12月から年明けと予想される。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年、平年ともに大幅に下回る見込み。</p>
しい	24年	1, 281	915	1,136	834	780	熊本 31%
	25年	1, 519	681	677	670	695	愛知 24%
	26年	1, 686	572	608	544	563	千葉 9%
	27年	2, 137	551	709	531	432	茨城 8%
	28年	1, 216	1, 061	1,072	1,009	1,099	静岡 6%
	5ヵ年平均	1, 568	719	807	684	671	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	1, 500	720	800	690	670		
しい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						<p>熊本、愛知、茨城などからの入荷が中心となる。前年の高値から作付面積が増え、生育も順調なため、入荷はL・Mサイズを中心に増加すると見込まれる。12月以降は10月の曇雨天続きの影響が懸念される。 入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	509	236	279	271	242	鹿児島 43%
	25年	459	470	515	486	433	宮崎 35%
	26年	488	302	366	320	304	高知 12%
	27年	549	228	267	236	252	茨城 9%
	28年	394	584	631	614	521	岩手 1%
	5ヵ年平均	480	350	397	370	339	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	500	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地が終了し、鹿児島、宮崎などの西南暖地中心の入荷となる。他の果菜類と同様に各産地とも作柄良好で、順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
白菜	24年	2,484	82	81	80	86	北海道 97%
	25年	2,649	100	99	107	98	長崎 3%
	26年	2,706	88	90	92	85	
	27年	2,685	97	99	99	98	
	28年	2,442	171	161	175	180	
	5ヵ年平均	2,593	107	105	110	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,600	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道が中心となり、中旬からは長崎の秋作も入荷する。北海道、長崎ともに生育良好で、順調な入荷が予想されており、11月の販売情勢は厳しい見通し。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	24年	5,256	66	68	67	67	北海道 100%
	25年	4,774	109	109	116	121	
	26年	5,908	77	81	80	78	
	27年	6,159	68	73	71	69	
	28年	6,351	67	70	69	66	
	5ヵ年平均	5,690	76	79	79	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	6,000	72	72	72	72	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>ほぼ全量を北海道から入荷する。昨年も豊作傾向だったが、本年も豊作で潤沢な入荷が予想される。産地では生産調整や輸出の前倒しも行われている。 入荷量は前年をやや下回るが平年より多く、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

10月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	1,919	213	216	202	210	茨城 54%
	25年	1,751	471	544	472	417	宮崎 21%
	26年	1,798	304	334	291	289	高知 14%
	27年	1,901	262	292	241	250	鹿児島 8%
	28年	1,723	556	584	601	496	岩手 2%
	5ヵ年平均	1,818	356	388	355	328	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,750	300	340	280	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に宮崎、高知からの入荷となる。曇雨天が続く花飛びが散見される。加えて肥大が鈍くなっており、上旬は入荷量が伸びない見通し。中旬以降は産地が出揃い平年並に回復すると見込まれる。 入荷量は前年並、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
白菜	24年	8,232	87	86	87	88	北海道 98%
	25年	8,433	106	104	106	107	長崎 2%
	26年	7,633	91	91	91	90	
	27年	7,069	98	100	96	97	
	28年	7,235	170	161	169	181	
	5ヵ年平均	7,720	110	108	109	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,800	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。大きな気象災害もなく順調に収穫進む。全体的にやや小玉傾向となるが、貯蔵出荷分も確保され、計画的な出荷が見込まれる。 入荷量は平年並で前年をかなり上回り、価格は前年及び平年ともに大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	24年	10,967	70	71	70	70	北海道 96%
	25年	10,113	117	112	119	120	中国 3%
	26年	10,767	82	81	81	84	
	27年	9,265	73	75	73	73	
	28年	10,732	74	75	73	73	
	5ヵ年平均	10,369	83	83	83	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	10,700	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は大きな気象災害もなく、生育は順調、玉伸びも大玉傾向で豊作基調となる。計画的な出荷が行われ、安定した数量の確保が見込まれる。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

10月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	24年	12,156	238	233	244	253	静岡 17%
	25年	11,404	283	278	290	292	岐阜 15%
	26年	11,560	256	238	268	270	愛知 10%
	27年	10,847	282	278	285	297	フィリピン 10%
	28年	10,314	314	317	316	316	和歌山 10%
	5ヵ年平均	11,256	273	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	10,600	290	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>静岡、岐阜、愛知などから入荷する。品目はみかん、柿、りんごなどが中心。前年は台風等によりりんごが大幅に減少した。本年は10月中旬時点で極端な増減はないが、下旬の台風による落ち込みと品質低下も懸念される。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
みかん	24年	4,215	206	212	213	202	静岡 42%
	25年	4,342	228	231	241	221	和歌山 19%
	26年	4,311	167	155	180	167	愛知 16%
	27年	3,709	224	247	220	213	三重 11%
	28年	4,077	259	276	269	244	熊本 6%
	5ヵ年平均	4,131	216	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	3,800	250	250	250	240		
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>静岡を中心に、和歌山、愛知、三重などから入荷する。全体的に遅れが見られていたが、上旬から静岡などの早生の入荷も始まる。早生の階級はM中心の産地が多く、出始めの量はやや少ない見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年をやや下回る見込み。</p>						
柿	24年	2,792	188	177	200	197	岐阜 64%
	25年	2,110	285	274	292	294	三重 12%
	26年	2,416	226	224	236	240	愛知 12%
	27年	2,491	238	219	245	257	和歌山 10%
	28年	2,380	277	265	269	291	奈良 1%
	5ヵ年平均	2,438	240	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
29年見通し	2,500	250	230	250	270		
柿	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>岐阜を中心に、三重、愛知などから入荷する。やや遅れがあるが、概ね順調な生育で、前半は三重などの次郎柿、下旬は岐阜の富有柿がピークを迎える。一方で、10月下旬の台風による品質低下が懸念材料。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

10月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)
			上旬	中旬	下旬	
果	24年	49,482	249	237	249	愛媛 17%
	25年	45,920	291	282	291	長崎 10%
	26年	45,734	268	259	267	山形 8%
	27年	44,022	296	277	295	和歌山 8%
	28年	44,604	332	352	322	熊本 8%
	5カ年平均	45,952	286	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	45,500	290	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
	みかん、りんご、かき等が入荷する。各品目とも潤沢な入荷が見込まれるが、10月中旬から荷動きの悪い状態が続いており、中旬までは厳しい販売が懸念される。中旬以降は荷動きが改善してくる見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。					
み	24年	21,170	231	220	236	愛媛 35%
	25年	21,812	244	233	251	長崎 20%
	26年	20,513	201	193	209	熊本 16%
	27年	20,495	244	246	247	和歌山 14%
	28年	21,222	289	254	239	佐賀 7%
	5カ年平均	21,042	230	223	236	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	20,600	250	240	250	
かん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
	愛媛、長崎、熊本中心に入荷。極早生から早生へ切り替わる時期となるが、極早生は10月中旬以降の降雨で出荷が遅れた産地もあり、しばらくは極早生と早生の平行した入荷が続く見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。					
か	24年	9,326	181	183	179	新潟 18%
	25年	7,052	275	279	276	奈良 15%
	26年	7,278	213	209	209	愛知 14%
	27年	6,776	212	185	226	和歌山 10%
	28年	7,370	270	274	251	岐阜 10%
	5カ年平均	7,560	228	224	225	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,300	270	260	270	
き	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
	「平核無」、「富有」、「次郎」等が入荷する。一部産地では10月の長雨により玉肥大が進んでいるが、全般に前年より小玉傾向となっている。台風21号により奈良、和歌山ではほ場や選果場に被害が発生しており、出荷終了が早まる可能性がある。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。					

切花・鉢花の11月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 10月31日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	24年	1,819	44	
		25年	1,713	58	
		26年	1,660	44	
		27年	1,875	37	
		28年	1,826	45	
	5ヶ年平均		1,779	45	
	29年見通し		1,750	45	
概要	愛知、三重、沖縄から入荷する。秋冬品種に切り替わり、沖縄産も出荷始まる。10月の台風や天候不順により例年と比べて少なめに推移すると思われる。				
小 ぎ	実績	24年	731	26	
		25年	788	37	
		26年	808	34	
		27年	980	20	
		28年	753	30	
	5ヶ年平均		812	29	
	29年見通し		750	30	
概要	愛知、奈良、沖縄から入荷する。沖縄からの入荷が始まるが、10月の台風の影響が心配される。天候不順と低温傾向のため、例年よりも落ち着いた入荷になると思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	24年	871	42	
		25年	1,173	39	
		26年	1,024	37	
		27年	1,144	29	
		28年	1,052	35	
	5ヶ年平均		1,053	36	
	29年見通し		1,050	35	
概要	長野、愛知、北海道から入荷する。高冷地産は8月前半の低日照と10月の悪天気により激減。暖地産も少し遅れ気味だが、天気が回復すれば一気に出てくる見込み。				
か す み	実績	24年	120	111	
		25年	148	85	
		26年	157	75	
		27年	175	54	
		28年	96	159	
	5ヶ年平均		139	90	
	29年見通し		110	100	
概要	高知、和歌山、熊本から入荷する。台風の影響や気温低下で前半はかなり少なく、中旬以降増える。業務中心に販売。中旬まではブライダルの引き合いがかなり強く、相場は月の前後半でかなり違う。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	24年	122	122	
		25年	335	172	
		26年	292	158	
		27年	307	152	
		28年	262	202	
	5ヶ年平均		264	166	
	29年見通し		270	180	
概要	<p>オリエンタルは高知、新潟、宮崎、埼玉からの入荷。気温が低く、前半は出荷少ない。中旬以降増加する。LAは埼玉、高知中心に入荷。昨年よりやや多い出荷となりそう。鉄砲は高知、鳥取から入荷。生産減少でやや少ない。業務を中心に販売で、後半まで強い動き。10月の2つの台風の影響も懸念される。</p>				
洋らん	実績	24年	518	77	
		25年	488	96	
		26年	490	75	
		27年	499	62	
		28年	515	78	
	5ヶ年平均		502	77	
	29年見通し		500	75	
概要	<p>愛知、鹿児島、高知、徳島等の国内産と輸入品となる。10月中旬までの日照不足、長雨の影響が、11月に入って顕著に出てくると思われる。シンビジウム、カトレア等は若干遅れ気味の出荷が予想される。</p>				
ばら	実績	24年	997	85	
		25年	940	90	
		26年	838	85	
		27年	817	77	
		28年	851	84	
	5ヶ年平均		889	84	
	29年見通し		860	80	
概要	<p>愛知、三重、和歌山、岐阜を主体に入荷する。天気が安定しないため、収量は若干不安定となる。週末の日柄もよく、相場は堅調に推移する。</p>				
枝も	実績	24年	1,786	43	
		25年	1,702	47	
		26年	1,550	44	
		27年	1,469	45	
		28年	1,502	46	
	5ヶ年平均		1,602	45	
	29年見通し		1,500	45	
概要	<p>静岡、長野、岐阜を中心に入荷する。稽古向けの需要は少ないが、11月になり、クリスマス花材は堅調な動きを見せる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	24年	16,465	789	
		25年	12,952	856	
		26年	11,524	782	
		27年	11,889	815	
		28年	11,133	719	
	5ヶ年平均		12,793	794	
	29年見通し		11,000	727	
概要	<p>入荷量は昨年並もしくはやや減少か。愛知県産が中心で輸入原木の減少から入荷も減る見込み。価格面についての相場は安定する見込み。サイズは6号～7号が中心で8号以上は少ない見込み。昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(55.7%)、2位鹿児島県(21.3%)、3位三重県(8.7%)となっている。</p>				
シヤコバサボテン	実績	24年	49,694	415	
		25年	38,706	424	
		26年	36,572	404	
		27年	35,681	435	
		28年	38,321	454	
	5ヶ年平均		39,795	426	
	29年見通し		35,000	457	
概要	<p>入荷量は昨年より大幅に減少か。愛知、関東ともに生産量減。荷主減が影響している。消費動向が小鉢化傾向にあるため、3.5号～4号の価格は安定、5号以上は厳しいと思われる。全体としては、入荷量の減少に伴いやや上向きと予想。昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(75.5%)、2位埼玉(16.2%)、3位茨城(5.8%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	24年	814,870	280	
		25年	866,458	276	
		26年	850,000	271	
		27年	806,976	282	
		28年	704,910	285	
	5ヶ年平均		808,643	279	
	29年見通し		700,000	286	
概要	<p>入荷量は昨年並か。サイズ別では4～5号が減少傾向にある一方で、3号ガーデンシクラメンは入荷増の見通し。上旬より4～5号鉢を中心に入荷が増え始め、下旬には出荷のピークとなる。天候次第ではあるが価格は昨年並に推移すると予想。昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(30.4%)、2位長野(25.5%)、3位群馬(5.8%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	24年	57,593	2,447	
		25年	66,499	2,353	
		26年	61,199	2,198	
		27年	60,154	1,980	
		28年	51,430	1,977	
	5ヶ年平均	59,375	2,198		
	29年見通し	51,000	1,961		
概要	<p>入荷量は昨年よりも減少か。昨年11月の売れ行きが不調で12月の販売が好調だったこともあり、今年は生育を遅らせている。その影響もあり11月は商品バリエーションが少なくなる可能性があるため、生産側は商品提案を随時していくと良いかと思われる。昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（62.1%）、2位高知（6.7%）、3位徳島（6.0%）となっている。</p>				
カラッコエ	実績	24年	38,350	179	
		25年	32,012	173	
		26年	33,754	174	
		27年	34,214	150	
		28年	29,780	188	
	5ヶ年平均	33,622	172		
	29年見通し	29,000	188		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。10月を境に少なめになる見込み。より一層の花の咲き方に気を遣っていただき、配色をオレンジ系を少なめ、ピンク、赤系を目立つように、また少量で黄色系を忘れずをお願いしたい。昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜（52.1%）、2位埼玉（36.5%）、3位茨城（3.5%）となっている。</p>				
パンジー	実績	24年	1,085,130	49	
		25年	939,240	49	
		26年	990,934	41	
		27年	978,611	43	
		28年	812,441	54	
	5ヶ年平均	961,271	47		
	29年見通し	820,000	52		
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。10月20日以降での出荷量は増加と予想、歩留まりが良いので出荷が多いが単価面では厳しくなる見込み。品質は昨年より良品が出荷できそうである。昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（43.5%）、2位三重（15.0%）、3位奈良（9.5%）となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.533
平成29年11月発行
農林水産部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434